

時代はまさに開戦前夜

「日本画」の世界に

激動の

変革が

起こる。

因襲的な

思想と技巧を

拒否する

ことを宣言し

わが国にはじめて

「前衛」と呼べる

運動が生まれた。



山岡良文シユバンスク(部分)
1938年 第1回歴史展 個人蔵

1938-1949

「日本画」の前衛

2010.9.3(金) - 10.17(日)

主催 | 京都国立近代美術館、東京国立近代美術館
開館時間 | 午前9時30分～午後5時(金曜日は午後8時まで開館。入館は閉館の30分前まで)
休館日 | 月曜日(ただし9月20日(月・祝)と10月11日(月・祝)は開館、9月21日(火)と10月12日(火)は休館)

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話 | 075-761-4111
ホームページ | <http://www.momak.go.jp> テレホンサービス(展覧会のご案内) | 075-761-9900

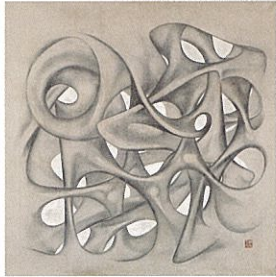


日本の風土に根ざし、季節感も豊かに穏やかな花鳥や山水が描かれた「日本画」の表現世界。その伝統的美意識の描写に飽きたらず、まったく新たな「日本画」の創造を目指そうとしたある集団が現れました。それが1938(昭和13)年4月に結成された「歷程美術協会」です。

しかも時代は太平洋戦争開戦前夜。国家総動員法が公布され、灯火管制規制や大本营本部といった文字もおどるまさに非常時。この時代に果敢にも「日本画」開拓に挑む姿も驚きですが、自由美術協会や美術文化など当時の洋画家たちとも交流し、抽象やシュルレアリスムはいうまでもなく、バウハウスの造形や工芸までも取り込んだその創造活動こそ、わが国ではじめて具体化した「前衛」美術運動といって過言ではありません。

本展覧会は「歷程美術協会展」に出品ののち、公開されたことのない山岡良文や船田玉樹が描いた新機軸の「日本画」作品、丸木位里や岩橋英遠らの現存する貴重な問題作、さらに交流のあった巖光や長谷川三郎ら洋画家たちの代表作に、「歷程展」に出品された八木虚平(一夫)の陶芸なども加え、「『日本画』の前衛」について多角的に検証します。そして、やがて戦争拡大とともに未完の「前衛」と化した様相にも触れながら、戦後「歷程美術協会」の再生ともいえるべき「パンリアル」誕生へといたる道を、80余点の作品と未公開の資料によって探ります。

多くの方々が抱えている「日本画」に対するイメージが、まったく変わってしまう展覧会となるに違いありません。



岩橋英遠《都無ち》
1940年 北海道立近代美術館蔵



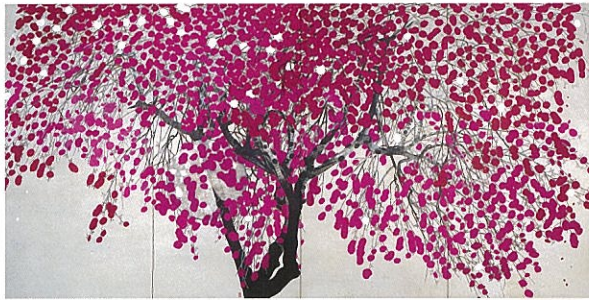
丸木位里《馬(部分)》
1939年 第1回歷程展 財団法人原爆の図丸木美術館蔵



山岡良文《ゲーグフリード線》
1939年 第2回歷程試作展 個人蔵



山崎隆《象》 1938年 第1回歷程試作展
京都国立近代美術館蔵



船田玉樹《花の夕》 1938年 第1回歷程展 個人蔵



巖光《眼のある風景》 1938年 東京国立近代美術館蔵



田口社《季節の停止》
1938年 第1回歷程展 大分県立芸術会館蔵

◎講演会

9月26日(日)午後2時から3時30分まで
会場：京都国立近代美術館1階講堂
演題：「日本画のアヴァンギャルド 戦前から戦後へ」
講師：菊屋吉生(山口大学教授)
定員：100名(聴講無料、当日午前11時から受付にて整理券を配布します)

◎コンサート

9月24日(金)午後6時から
会場：京都国立近代美術館1階ロビー
電子音楽ユニット Ipso facto によるテルミン
(1919年ロシアで発明された世界初の電子楽器)と
電子音楽、邦楽離子・打物のコラボレーション
Ipso facto 「シュバンヌク・電子と和の緊張」

演目：Celebrated Air (J.S.Bach)
Vocalise (Rachmaninoff)
Ave Maria (Gounod) ほか
Ipso facto 実験的作品集より
演奏：Ipso facto
船田奇岑 Theremin (テルミン)
RAKASU PROJECT. Keyboard, Computer
西田彩 Computerized Guitar
+
鳥村聖香 邦楽離子・打物
岡本大祐 喜田葉大 谷澤昇希 映像・協力(京都精華大学)

[Ipso facto について]
船田奇岑(Thereminist、絵師 出品作家・船田玉樹子息)、RAKASU PROJECT.、西田彩を中心メンバーにさまざまなインターフェイスを使用し有機的な事象と無機的な存在を関連づける電子音楽ユニット。

無料、先着150席

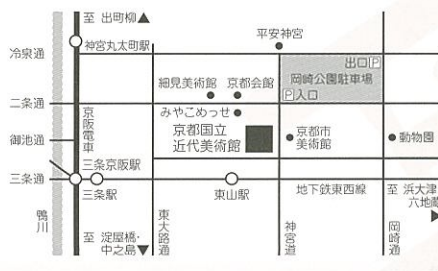
【交通案内】

- JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行) 銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪四条駅から市バス46番 平安神宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- 市バス他系統「東山二条」又は「京都都会館美術館前」下車 徒歩約5分
- 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分
- お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は駐車場の割引(1台1名)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください

【観覧料】

一般 850(700/600)円、大学生 450(350/250)円
※()内は前売り/20名以上の団体料金の順
※高校生および18歳未満、心身に障がいのある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください)
※本料金でコレクション展もご覧いただけます
※前売券の主な取り扱い：チケットぴあ(Pコード:764-294)、ローソンチケット(Lコード:52862)、ほか主要プレイガイド、コンビニエンスストアなど

NFC所蔵作品選集
MoMAK Films@home
【戦前の前衛を中心とする日本映画上映】
10月9日(土)・10日(日)14時から
「鏡 SPIEGEL」(貴志廉一監督、1933年)、荻野茂二監督作品 ほか
上映作品、各スケジュールについてはホームページ(www.momak.go.jp)をご覧ください。
会場：京都国立近代美術館1階講堂 料金：1プログラム500円
主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター
企画協力：富田美香、川村健一郎
(立命館大学映像学部准教授)



【展覧会のお問い合わせ】 京都国立近代美術館 [岡崎公園内] 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話=075-761-4111
ホームページ= <http://www.momak.go.jp> テレホンサービス(展覧会のご案内)=075-761-9900



丸木位里《柳暗》
1941年 第2回美術文化展 広島県立美術館蔵